

今年度の重点「道の駅」の方針について

令和元年7月

1. 平成30年度の重点「道の駅」について

選定にあたり優先的に評価する事項

○重点「道の駅」候補からの企画提案

○以下に関する企画提案

- ・次世代観光拠点の形成
(DMOとの連携、インバウンド観光)
- ・風景街道・道守との連携
- ・高速道路との連携
- ・子育て応援

選定のプロセス

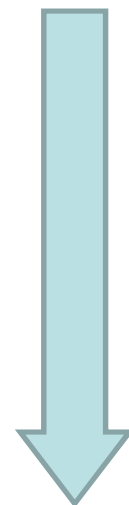
平成30年10月5日

公募開始



平成30年10月25日

企画提案書提出
締切

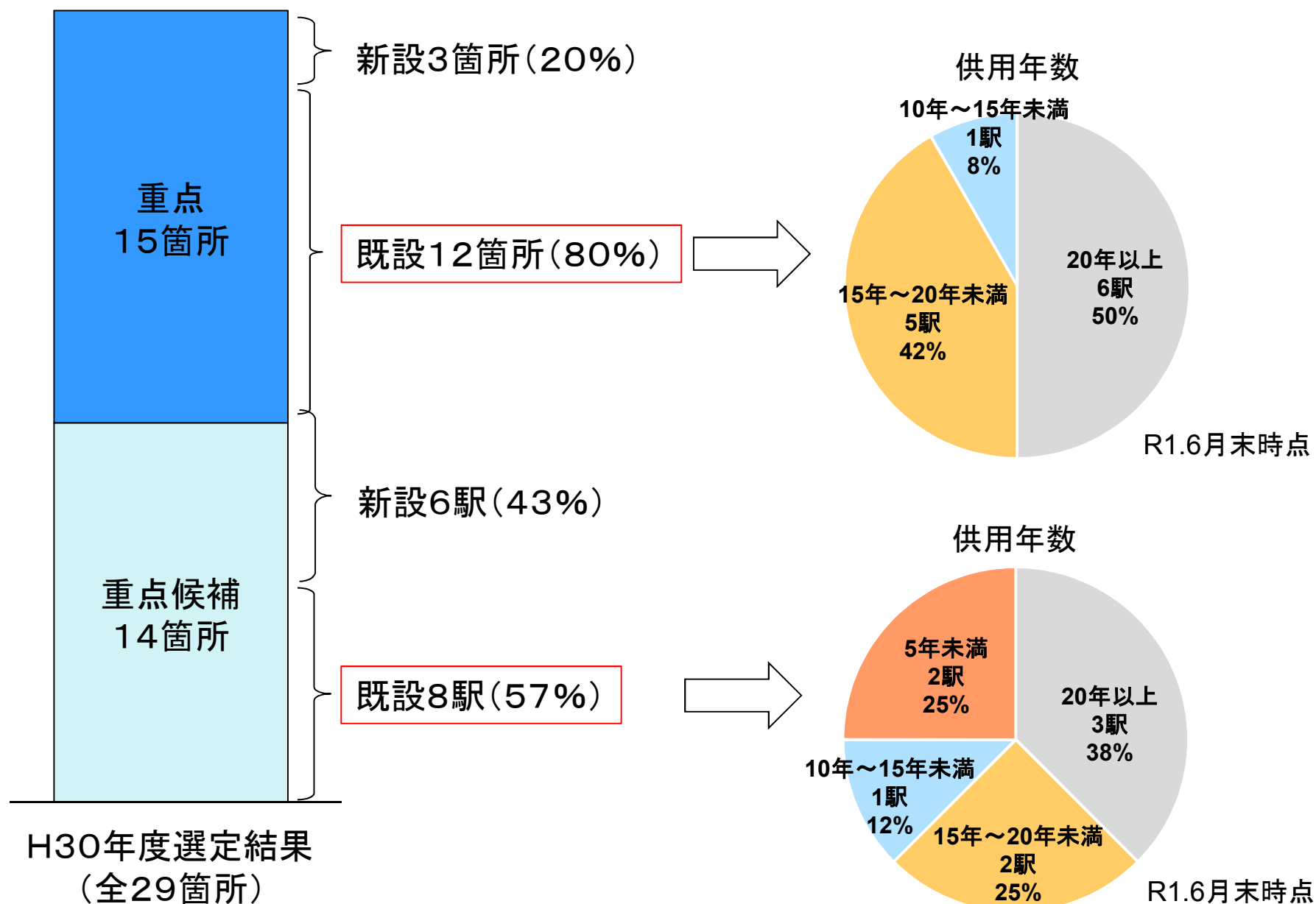


- ・各地方整備局から推薦
- ・企画提案の評価・選定
(有識者意見を踏まえ実施)

平成31年1月30日

重点「道の駅」
の選定

2. 平成30年度 重点「道の駅」選定箇所の概要について



3. 平成30年度重点「道の駅」の課題

(1) 主な課題

- ・公募期間が短かく、企画提案を作成する期間が十分確保できなかつた。
- ・公募に関する周知が十分でなかつた。
- ・整備時期が数年後であるなど、応募のタイミングが理解されていなかつた。

(2) 有識者からの主な意見

- ・公募の周知を図るためにブロックごとに説明会等をすべきではないか。
- ・老朽化した道の駅等のリニューアルに対し、支援すべきではないか。
- ・計画的な応募を促すために、毎年募集すべきではないか。
- ・必要に応じ、現場視察も選定のプロセスに組み込んでいくべきではないか。
- ・企画提案の達成状況、効果等をフォローアップすべきではないか。

4. 今年度の重点「道の駅」の方針（案）

(1) 優先的に評価する事項

- ・昨年度は検討期間が短いために、応募できなかった道の駅もあることから、評価項目は、基本的に昨年度と同様に設定する。
- ・老朽化した施設等の更新の時期を迎えている道の駅も多いため、供用年が古い駅のリニューアルは優先的に評価する。

(2) 公募期間

- ・企画検討に必要な期間を十分に確保するため、公募期間を3か月とする。

(3) 周知方法

- ・各地方整備局ごとに説明会を開催するなど、周知を図る。

(4) 確認方法

- ・必要に応じ、有識者の方々に現地視察等を行って頂く。

⇒ 重点道の駅等のフォローアップ、モデル道の駅との関係等の残された課題については、来年度の重点道の駅公募に向けて、引き続き議論。